

2026年5月13日
株式会社エフピコ

エフピコ×ロピア 「エコ製品」の積極的な使用で 「ストア to ストア」の協働を強化します

～2027年2月期にCO2排出削減「年間4,000t」を目標～

株式会社エフピコ(代表取締役会長:佐藤 守正、以下「エフピコ」)は株式会社ロピア(代表取締役社長:大久保 恒夫、以下「ロピア」)と協働し、関東エリアを中心に展開する全国143店舗(2026年5月13日時点)を対象に、店頭で回収された使用済み食品トレーを新たな食品トレーに生まれ変わらせる「トレーtoトレー」に取り組み、再び店頭で積極的に「エコ製品」※¹を使用する「ストアtoストア」の水平リサイクル※²を促進するための協働を強化いたします。



●ストアtoストアの流れ



●本取り組みについて

エフピコとロピアは、『お店がその地域のエコリーダー』となることを目指し、店頭に設置している回収ボックスにて、地域の皆さまにお持ちいただいた使用済み食品トレーの回収を開始いたします。回収した使用済み食品トレーはすべてエフピコで資源として活用され、エコ製品に生まれ変わります。

このエコ製品を再びロピアの売り場で使用することで循環型の水平リサイクルを実現してまいります。

ロピアでは、回収資源から再生されたエコ製品を売り場で使用することによって、

2026年2月期において、3,279tのCO2排出削減に貢献しました。

この度の協働体制強化に伴い、資源回収とエコ製品の積極的な使用をさらに推進することによって、2027年2月期に『約4,000t』のCO2排出量抑制を目指します。

また、店頭でのリサイクル啓発ポスター掲示等によるPR活動を通じて地域のお客様にリサイクルへの参加を呼びかけ、使用済み食品トレーの回収量増加を図ってまいります。

※1 回収された資源を原料とする「エコトレー」、「エコAPET」、「エコOPET」

※2 リサイクルの前後で用途を変えずに資源を循環させるリサイクル方法

【ご参考】

<株式会社エフピコ>

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルto透明容器」による地上資源の循環、及びCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地:〒163-6036 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号 新宿オークタワー36階

代表者:代表取締役会長 佐藤 守正/代表取締役社長 安田 和之

設 立:1962年7月

H P:<https://www.fpc.jp/>

<株式会社ロピア>

関東エリアを中心に全国143店舗を展開する食品を主体としたスーパーマーケットチェーンです。

ロピアは、「食生活♡♡ロピア」をスローガンに掲げ、「同じ商品ならより安く、同じ価格ならより良いものを」というモットーを創業以来大切にしています。この理念は、店舗運営や商品づくりの基本姿勢として浸透しており、お客様に喜びと感動を与える店づくりを目指しています。

所在地:〒212-0016 神奈川県川崎市幸区南幸町2丁目9番地

代表者:代表取締役社長 大久保 恒夫

設 立:1971年4月

H P:<https://lopia.jp/>

以 上

【本リリースに対するお問い合わせ先】

■株式会社エフピコ リサイクル推進部 TEL:03-5325-7559 FAX:03-5325-7767